

塩野義製薬 × 国際 NGO ワールド・ビジョン・ジャパン 「Mother to Mother」プロジェクトで 日本とケニアのお母さんを応援！

世界の子どもを支援する国際 NGO ワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)は、塩野義製薬株式会社(塩野義製薬)が 10 月に開始する日本とアフリカのお母さんの健康を応援する「Mother to Mother」SHIONOGI Project(「Mother to Mother」)の実施にあたって協働します。

**Mother
to Mother**
SHIONOGI Project

プロジェクト ロゴマーク

「Mother to Mother」において、WVJ は、塩野義製薬が寄付して下さる総合ビタミン剤「ポポン®S」シリーズの売上げの一部と全社員からの募金を活かし、ケニア南西部ナロク県のイララマタク地域で、母子保健事業を実施します。日本のお母さんの健康を応援する製品による寄付が、ケニアのお母さんの健康へとつながります。プロジェクトの詳細はこちら：

<http://www.shionogi.co.jp/company/csr/mtom.html>



ケニアのお母さんと赤ちゃん

ケニアの妊産婦死亡率は 10 万人当たり 400 人と世界の中でも高く(日本 6 人、世界平均 210 人)、また、5 歳未満で命を落とす子どもは 1000 人当たり 71 人(日本 3 人、世界平均 46 人)にもものぼります*。*WHO, World Health Statistics 2015

WVJ は、困難な状況で生きる子どもたちが健やかに成長できるよう、2006 年にイララマタク地域でチャイルド・スポンサーシップ*による支援事業を開始。保健衛生サービスの向上や水衛生、子どもたちの栄養改善等のプロジェクトを進めてきました。「Mother to Mother」ではお母さんが安心して出産し子どもを育てられるよう、病院の建設、巡回診療による基本的医療の提供等を実施します。また、現地政府と連携し、医療従事者のトレーニング、地域住民への啓発活動等に取り組みます。こうした活動は、チャイルド・スポンサーシップによってこれまでに進められてきた支援と相乗効果を生み、成果を持続させることにつながることを期待されます。

*チャイルド・スポンサーシップ: 途上国の子どもを取り巻く環境を改善する長期(10~15 年)にわたる支援プログラム

■塩野義製薬とは

「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」という基本方針のもと、創薬型製薬企業として、世界中の患者さまやそのご家族の方々の QOL(Quality of Life:生活の質)向上を実現するために、医療用医薬品を中心に OTC 医薬品や診断薬の研究開発、製造、販売活動を行っています。詳しくは www.shionogi.co.jp へ。

■ワールド・ビジョン・ジャパンとは

ワールド・ビジョン・ジャパンは、キリスト教精神に基づいて、貧困や紛争、自然災害等のために困難な状況で生きる子どもたちのために活動する国際 NGO。国連経済社会理事会に公認・登録された、約 100 カ国で活動するワールド・ビジョンの日本事務所です。詳しくは www.worldvision.jp へ。

■この件に関するお問合せは

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 広報担当: 市山志保
【電話/FAX】 03-5334-5356/5359 【携帯】090-5762-8886 【Eメール】 shiho_ichiyama@worldvision.or.jp